

早期景気観測調査

【6-7月期 調査結果概要報告書】

令和2年8月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和2年7月15日(水)～7月31日(金)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 92件
7. 有効回答率： 69.7%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6-7月期の動き】

全体業況は5期振りの改善だが、値は▲73.9と依然として低い結果となった。向こう3ヶ月の業況は改善の見通しだが、実態はほぼ横ばい。

6-7月期の全業種総合の業況DIは、▲73.9（前期比9.6ポイント）と5期振りの改善となったが、値としては低い結果が続いた。

向こう3ヶ月の先行き業況も、改善する見通し。ただし、悪化から不変への変化が主因なため、実態はほぼ横ばい。

業種別では、製造業、卸売業、小売業が改善、建設業が悪化、サービス業が横ばいとなった。

製造業の業況DIは▲52.6（前期比18.0ポイント）と改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI ○悪化⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

建設業の業況DIは▲68.8（前期比▲25.9ポイント）と悪化となった。

○売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI、金融貸出しDIの全てが悪化

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

卸売業の業況DIは▲95.0（前期比5.0ポイント）と改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○悪化⇒仕入単価DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況DIは▲57.1（前期比37.9ポイント）で改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDI ○悪化⇒仕入単価DI

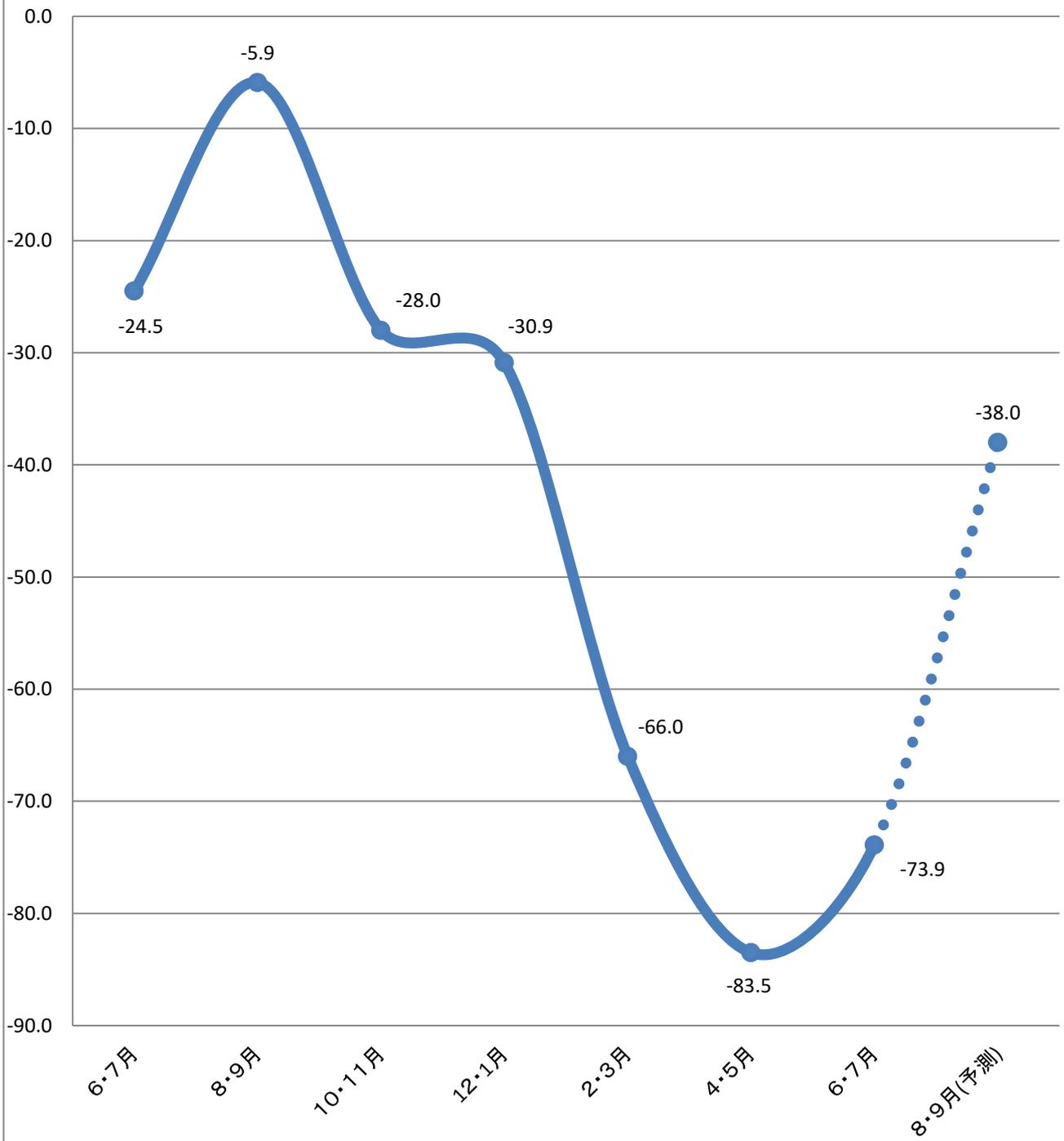
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

サービス業の業況DIは▲100.0（前期と同ポイント）と横ばいとなった。

○売上DI、採算DI、従業員DI、仕入単価DI、金融貸出しDIの全てが悪化

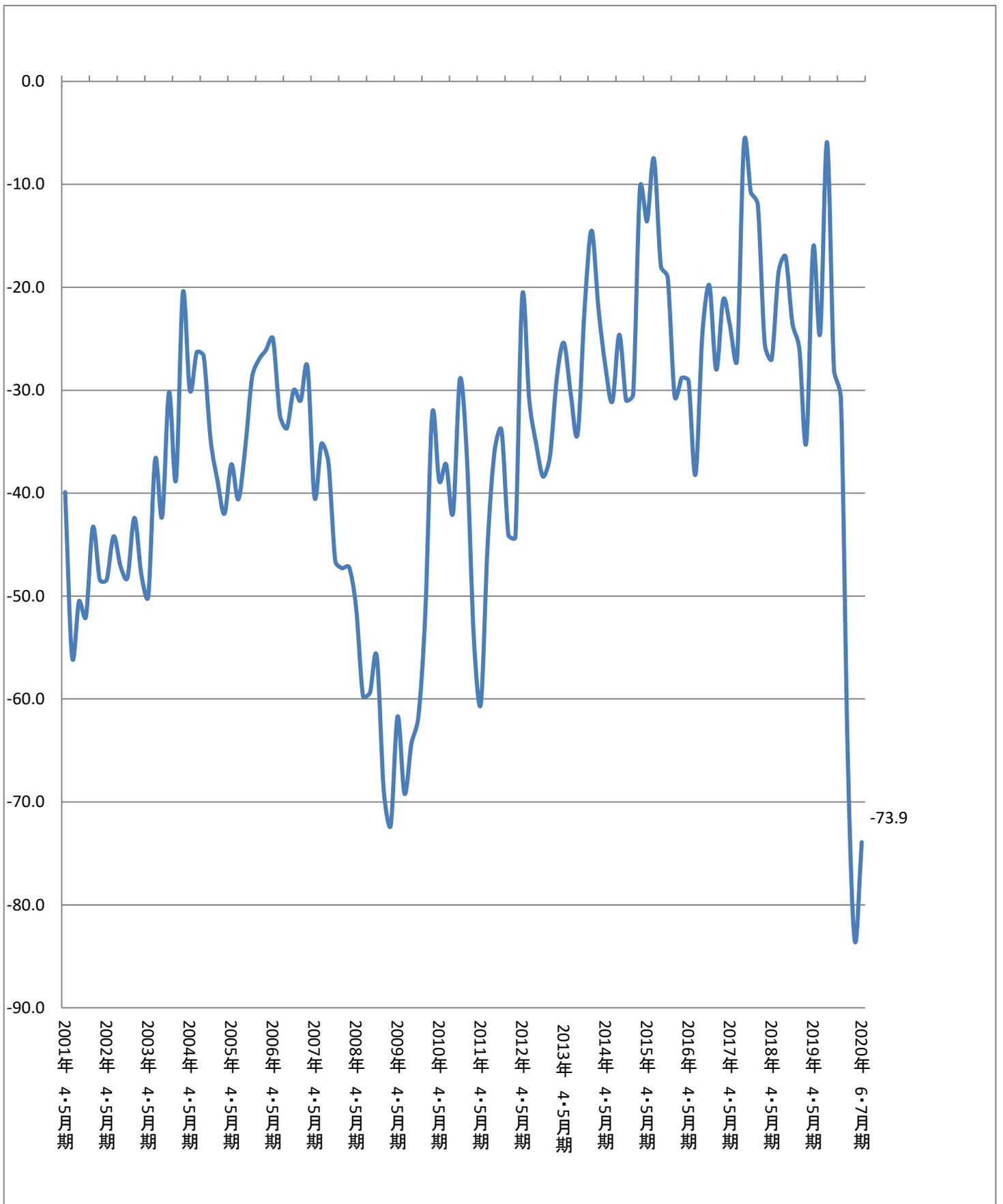
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2020年6・7月期)

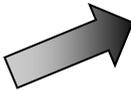
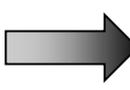


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

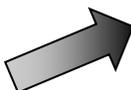
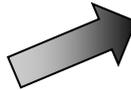
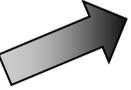
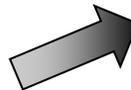
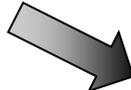
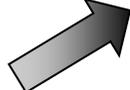
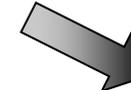
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲73. 9	▲38. 0	▲71. 7	▲69. 6	▲23. 9	▲9. 8	10. 9

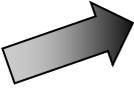
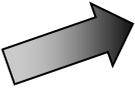
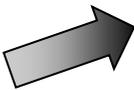
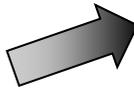
6-7月期の全業種総合の業況D I は、▲73. 9（前期比9. 6ポイント）と5期振りの改善となったが、業況D I の値は依然として低い結果となった。

項目別

- 今期より改善⇒売上D I（▲78. 8→▲71. 7）、採算D I（▲81. 2→▲69. 6）、
従業員D I（▲10. 6→▲9. 8）
 - 今期より悪化⇒金融貸出しD I（14. 1→10. 9）
 - 2期連続悪化⇒仕入単価D I（▲16. 5→▲23. 9）
- 向こう3ヶ月の先行き業況は、▲38. 0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲52. 6	▲15. 8	▲52. 6	▲42. 1	▲26. 3	▲10. 5	10. 5

業況D Iは▲52. 6（前期比18. 0ポイント）と改善となった。

項目別

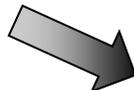
○今期より改善⇒仕入単価D I（▲29. 4→▲26. 3）、従業員D I（▲11. 8→▲10. 5）

○2期連続改善⇒売上D I（▲58. 8→▲52. 6）、採算D I（▲64. 7→▲42. 1）

○今期より悪化⇒金融貸出しD I（11. 8→10. 5）

向こう3ヶ月の業況は、▲15. 8と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲68. 8	▲62. 5	▲62. 5	▲75. 0	▲31. 3	12. 5	6. 3

業況D Iは▲68. 8（前期比▲25. 9ポイント）と4期連続の悪化となった。

項目別

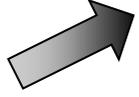
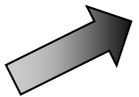
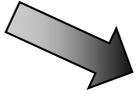
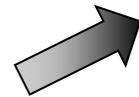
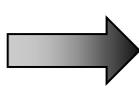
○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲28. 6→▲31. 3）、金融貸出しD I（7. 1→6. 3）

○3期連続悪化⇒売上D I（▲50. 0→▲62. 5）

○5期連続悪化⇒採算D I（▲35. 7→▲75. 0）、従業員D I（21. 4→12. 5）

向こう3ヶ月の業況は、▲62. 5と改善する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲95.0	▲40.0	▲90.0	▲80.0	▲20.0	0.0	20.0

業況D Iは▲95.0（前期比5.0ポイント）と改善となった。

項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲95.0→▲90.0）、採算D I（▲100.0→▲80.0）、

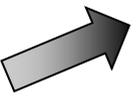
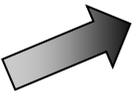
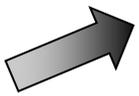
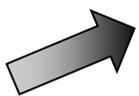
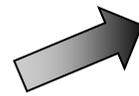
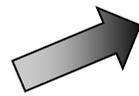
従業員D I（▲10.0→0.0）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（0.0→▲20.0）、

○今期より横ばい⇒金融貸出しD I（20.0→20.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲40.0と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲57.1	▲52.4	▲57.1	▲57.1	▲19.0	▲4.8	9.5

業況D Iは、▲57.1（前期比37.9ポイント）と改善となった。。

項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲90.0→▲57.1）、採算D I（▲100.0→▲57.1）、

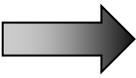
従業員D I（▲10.0→▲4.8）

○3期連続改善⇒金融貸出しD I（5.0→9.5）

○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲10.0→▲19.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲52.4と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲100.0	▲18.8	▲100.0	▲100.0	▲25.0	▲50.0	6.3

業況D Iは▲100.0（前期と同ポイント）と横ばいとなった。

項目別

○今期より悪化⇒金融貸出しD I（28.6→6.3）

○2期連続悪化⇒仕入単価D I（▲21.4→▲25.0）

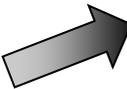
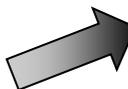
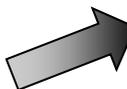
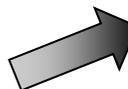
○3期連続悪化⇒売上D I（▲92.9→▲100.0）、採算D I（▲92.9→▲100.0）

○4期連続悪化⇒従業員D I（▲42.9→▲50.0）

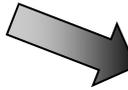
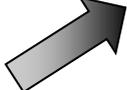
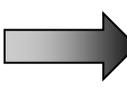
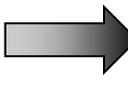
向こう3ヶ月の業況は、▲18.8と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

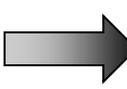
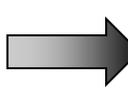
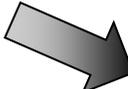
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

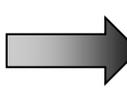
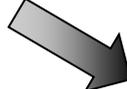
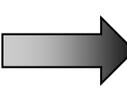
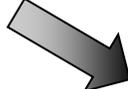
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

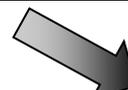
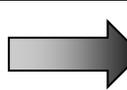
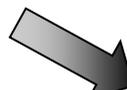
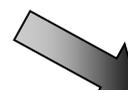
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

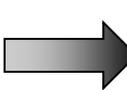
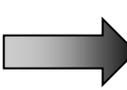
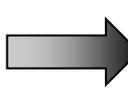
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

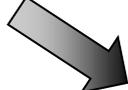
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

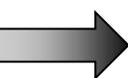
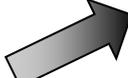
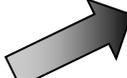
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

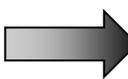
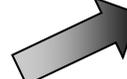
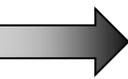
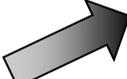
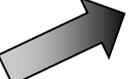
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

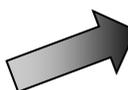
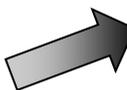
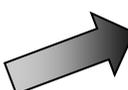
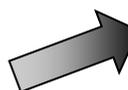
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

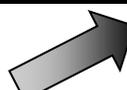
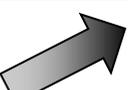
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

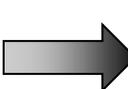
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

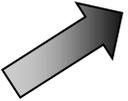
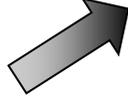
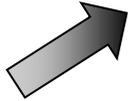
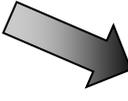
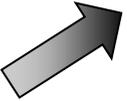
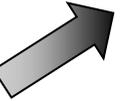
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

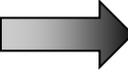
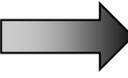
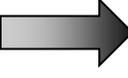
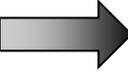
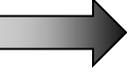
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

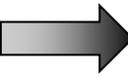
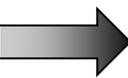
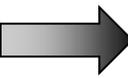
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

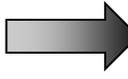
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

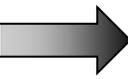
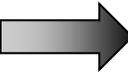
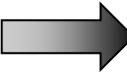
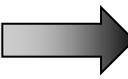
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・新型コロナウイルスの影響による売上の減少は限界まで来た感はあるが、回復の速度が非常に遅い。

製造業（工業）

- ・売上高は、特に海外向の減少が大きい。

製造業（宝飾）

- ・イベントや展示会は徐々に活動再開しているが、集客が従来のように戻ってこない。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・3～4月の落ち込みと比べると、回復傾向にあるが、今後の新型コロナウイルスの状況次第では、悪化が予想される。

【建設業】

建設業（建築）

- ・今のところ新型コロナウイルスの影響は大きくないが、今後の受注状況が懸念される。

建設業（土木）

- ・新型コロナウイルスの影響により、民間工事が激減し、不透明な状況が続いている。
- ・新型コロナ対策のマスク着用は、現場では熱中症のトラブルなど、特に大変である。

【小売業】

小売業（事務用品）

- ・取引先との連携がうまくできず、仕事がなかなか進まない。

小売業（趣味・日用品）

- ・商店街に来るお客さんが激減している。
- ・寝具やインテリア製品の物品販売はそれほど大きな落ち込みはなかったが、内装工事の受注の落ち込みは大きく、秋まで続く雰囲気がある。
- ・学校のイベントなどが中止や延期となり、不透明な状況が続いている。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・法人利用が著しく減少しており、業績の回復は程遠い。
- ・「Go to キャンペーン」は内容浸透が十分でないため、拙速な実施のイメージが強い。

サービス業（観光）

- ・旅行事業の状況はますます悪化しており、この状況が続くと本格的に厳しい。
- ・新型コロナウイルスの影響により、神社への参拝客も激減し、周辺のお店も売上が減っている。

サービス業（飲食その他）

- ・6～7月に入り、徐々にではあるが業況も戻ってきたが、前年度と比べると5割程度の売上しかない。
- ・新型コロナウイルスだけでなく、長期の豪雨などもあり、厳しい状況が続いている。

以上